

雇用を守り、暮らしを守り、地域を守る

<http://www.togikai-minsyuto.jp/>

都議会民主党

検索

発行 都議会民主党政策調査会

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
Tel.03-5320-7230 Fax.03-5388-1784
E mail:seisaku@togikai minsyuto.jp

民主党
だからできる
都政改革

都議会民主党は第一会派の責任を果たします!!

猛暑にあえていたころは、一体、秋は来るのだろうかと半ばあきらめの境地でしたが、9月議会開会中に一気に秋は訪れました。四季の巡りのありがたさをつくづくと感じます。日本やロシアでの歴史的な猛暑とパキスタンでの豪雨・洪水など、地球規模での異常気象と海洋での温水域の変動とが密接な関係があることなど、異常気象のメカニズムも徐々に解明されつつあります。温室効果ガスの影響とまだ断定はできませんが、私たち人類の活動が、何億年も絶妙のバランスを保ってきた地球の自然体系に影響を及ぼしていることは確か。一人ひとりの本腰を入れた取り組みが求められています。

政治主導でHTLV対策を進める!!

安心の出産・子育て支援。



発症した場合、ATL（白血病）やHAM（神経障害）といった重病を引き起こすHTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）のキャリア（無症状感染者）の数は約100万人以上と推定されていますが、未だ有効な治療法は確立されていません。感染の6割とされる母乳を介した母子感染は、効果的な予防対策が確立しており、その全国的な実施が急がれていました。そのHTLV-1対策を政治主導で進めるため、菅直人総理の指示で特命チームが設けられ、妊婦を対象とした全国一律の抗体検査やカウンセリングを、来年度を待たず本年度中に実施に移せるよう検討を進めることとなりました。東京は感染者数が全国最大と言われる一方、専門的知識のある医療関係者が少ないため、カウンセリング体制構築が、緊急かつ重大な課題です。都議会民主党は代表質問で、混乱を避け、しっかりと実施できるよう強く求めました。

2010年第3回都議会9月定例会は10月7日に閉会しました。石原都知事の任期も残すところ半年あまりとなった今定例会には、都の側から特に意欲的な提案・議案はありませんでした。一方、懸案のひとつ築地市場移転問題では、都議会民主党の提案による築地市場再整備の具体案が示されたことなどで、議論が大きく進みました。私たち都議会民主党は、引き続き、都民や関係者の意見を十分に聴きながら、都議会第一会派の責任と自覚をもって、都政運営に全力で取り組んでいきます。

＝都議会議員今村るか・都政アンケート＝

◆みなさんのご意見をお聞かせ下さい!!

今村るかは町田市議団のなかまとともに、**小・中学校の教室へのエアコン設置**に向けての取り組みを進めています。猛暑対策として、教育環境整備とともに、児童・生徒の健康面からも必要と考えるからです。大阪府の橋下知事のような精神論はさておいても、温暖化対策に逆行するなど反対意見もあります。みなさんはどうお考えでしょうか？

1 賛成 2 反対

【理由】

◆都政全般、今村るかへのご意見・ご要望

都議会議員

今村るか



町田から人にやさしい都政を!!

◆略歴◆

1968年8月 町田市生まれ42歳
藤の台小、金井小、薬師中卒、
基督教独立学園高、和光大人文学
部人間関係学科卒。1994年町田市
議最年少25歳初当選、連続4期。
2007年都議補選で初当選。2009年
7月都議選で再選。

現在、厚生委員会理事、都議会民
主党総務会副会長、民主党東京第
23区総支部幹事長、町田市視覚障
害者協会顧問など

www.i-ruka.net

切手を張らずにご投函してください

民主党
だからできる
都政改革

都議会民主党が進めます!! 生活の安心と安全を支える都政。 「都議会9月議会」の報告をお届けします!!

再整備案も示された移転問題は都民の合意を!! 石原知事の暴走を許すな!!

都議会民主党は、8月30日に築地市場再整備のコンセプトなどを提案。これに基づき都議会特別委員会内の小委員会で、具体的な再整備の4つの案が示されました。東京都は「築地での再整備は3400億円もかかる。無理だ。できない。だから豊洲に移転するしかない。」と言い続けてきましたが、築地での再整備もやればできることが証明されたのです。参考人である市場業者の発言でも「A2案は、物流面や買い回りなど、市場機能から見ても、豊洲案より優れている」などと好評です。使用料やスケジュールでの指摘もありますが、都議会民主党は、使用料は、試算の方法によってはほぼ同等になること、スケジュールも、オリンピック招致計画を参考にすれば短縮は可能であると主張しています。要はやる気次第。都のまず豊洲への移転ありきの姿勢の問題なのです。引退間近の石原知事が関連予算の執行を強行するとの見方もありますが、それこそメンツにこだわり後始末は後に委ねる無責任極まりない行動で、絶対に許されるものではありません。

◆市場関係者にも好評の再整備案イメージ◆



郵便はがき

1 9 4- 8790

料金受取人払

町田支店
承認

0331

差出有効期間
平成22年8月
20日まで
<切手不要>

町田市本町田3549番地-3
藤の台団地2-50-203

東京都議会議員(都議会民主党)

今村るか 事務所 行



お名前

(歳)

ご住所

〒

町田市

お電話・FAX

E-mail

特別委の幕引きを画策する自民党

都議会築地市場特別委員会は、豊洲移転問題も含めた議論の場として昨年9月に設置されました。今年3月には市場会計予算に対し「議会として現在地再整備の可能性について検討し、一定期間内に検討結果をまとめる」などの付帯決議が付されました。9月議会では自民党などがその付帯決議を根拠に、今定例会での議論が検討結果と主張、特別委員会の終了を求めてきました。

都議会民主党は、再整備案のブラッシュアップが必要な上、広く市場関係者に対して意向調査を実施せずに結論を出すことはあり得ないと主張。さらに、豊洲の土壤汚染対策の検証など、まだまだ調査・検討すべき課題があると応え、特別委員会の継続を求めました。都議会民主党は、都民の立場に立って、一定期間内には検討結果をまとめていく考えです。

食の安全だから徹底的にこだわる!!

豊洲新市場予定地の土壤汚染問題では、都民の不安が解消される気配は全くありません。都は実証実験の3月中間報告で規制値の43000倍のベンゼンについて「無害化できることが実証された」としていましたが、実はその実験はわずか2.7倍の濃度に過ぎなかったことが、7月になってようやく明らかにされました。また、豊洲の汚染土壌の上に持った盛土からも汚染物質が検出された問題では、都が搬入土の汚染調査をすると定めた自らの内規に違反していたことをマスコミに指摘されはじめて事実を認めるという体たらくです。

都議会民主党の質問に、東京都は「都民に説明し、理解を得ることが十分でなかった点は反省すべきだと受け取っている」と答弁。都議会民主党は、引き続き、不利な情報でも公開するようなオープンな形で検証を求めています。